

「2024年中国・浙江大学スプリングスクール派遣報告書」

京都大学教育学部1年 NGUYEN PHUONG THAO

① 学習成果

今回の交換留学を通じて、私自身の学びや国際理解、そして将来の進路に対する考え方が大きく変化した。現地では、中国語の実践的な運用力を養うため、全授業が中国語で行われる環境に身を置き、日々の講義やディスカッションを通じて聞く力、話す力ともに大幅に向上した。中国語を実際に使う機会が多かったことで、単なるテキスト学習では得られなかった実践的なコミュニケーション能力が培われ、語学習得への自信を深める結果となった。

また、大学のキャンパスに滞在し、中国人学生との交流を通じて、彼らの学習態度や生活スタイルを直に感じることができた。キャンパスライフの中で、学生たちがアルバイトを控え、学業に専念する姿勢や、共同生活を営むことで培われる友情と協力の精神に触れ、これまでとは異なる学習環境の魅力を再認識した。さらに、世界各国から集まった留学生たちと中国語を共に学ぶ経験は、国際的なクラスの一員として多様な価値観に触れる貴重な機会となった。

② 海外での経験

滞在先の杭州だけでなく、上海や南京への訪問も大変印象深いものであった。各都市では、現代的な発展と伝統文化が融合する中国の多様な側面を感じ、交通網や地域特有の風景、生活様式、そして歴史的背景について理解を深めることができた。初めて中国に来て、現地の生活へ適応する過程で、自己の成長を実感するとともに、現地の方々との交流の中で、中国語および英語を積極的に用いる機会に恵まれた。この経験は、語学運用能力の向上のみならず、異なる文化背景を持つ人々との対話を通して、より広い視野を養う貴重な契機となった。

③ プログラム内容

プログラム内では、浙江大学の考古博物館や、杭州のハイテク地域、歴史ある観光名所を巡るなど、学問だけでなく実際の文化や歴史にも触れることができた。これにより、杭州という街の持つ伝統と近代性がどのように共存しているのか、またその背景にある社会的・文化的要因について、より深く理解することができた。さらに、日本と中国の関係性や、両国が築く教育文化の交流についても学ぶことで、国際理解への意欲は一層高まった。

④ 進路への影響

このような多角的な体験は、私の将来の進路に大きな影響を与えた。教育政策や文化に対する興味が深まり、今後は、アジアの国を中心に、比較教育の視点からさらなる研究を進めたいと考えるようになった。今回の派遣は、語学習得のみならず、異文化理解や実践的な国際交流の重要性を体感する貴重な機会であり、将来的に多文化が共生する環境で働くという志向を確固たるものとし、国際教育の推進や教育政策の改善に貢献する意欲を高めた。これからも、今回得た知識と経験を活かし、より広い視野で教育文化の比較研究を進め、国際社会に貢献できる人材となるよう邁進していきたいと思っている。